

平成26年度事業報告

社団法人秋田県放射線技師会

会長 藤原 理吉

平成26年度事業総括

平成26年4月1日より消費税が8%に増税され、税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減・夏の天候不順・輸入物価の上昇・税率引上げの影響を含めた物価の上昇などに家計の所得が追い付いていないことなど、経済状況はあまりよろしくない。せめてもの救いは数年続いた大雪が新年を迎えて収まってくれたことで大変安堵したことである。ところで、日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行し65歳以上の人口は3,000万人を超え、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が飛躍的に増加することが見込まれる。そのため、厚生労働省は2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制、いわゆる地域包括ケアシステムの構築を推進している。このケアシステムは人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部と75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等とでは高齢化の進展状況に大きな地域差が生じる。よって保険者である市町村や都道府県が、地域の自主、主体性に基づき地域の特性に応じて作り上げていくことが必要となり、我々も連携しながら構築に向けて努力していく必要がある。

さて、平成26年度は長年に亘り舵取り役としてご指導いただいた土佐前会長から引き継ぐことで始まった。公益法人は事業の50%以上について公益活動を目的とした事業（支出）を求められることから、緻密な事業計画と適正な予算配分を図りながら事業を執り行うことが求められる。

本年度は、定時社員総会での特別講演が印象深い、『大規模洋上風力で掴む50年後の風「風の王国プロジェクト」の挑戦』と題した山本久博氏の講演は壮大で魅了された会員が多いと推察できた。専門外の講演は資質の向上を図ってくれる。他団体との共催事業では、日本医用画像管理学会の協力で「医用画像管理セミナーin秋田」を開催することができた。また、日本診療放射線技師会とは基礎技術講習「消化管撮影」や「フレッシューズセミナー」などを開催した。さらに、放射線診療への理解とがん検診受診の啓発を目的として例年開催してきた「医療放射線画像展（レントゲン祭）」においては、第29回国民文化祭が秋田県を会場に行われた影響で、アルヴェのきらめき広場を借りられず、秋田駅東西連絡自由通路を会場にパネル展示となった。このときに会の名称入りウィンドブレイカーとのぼり旗を新調しお披露目となった。次に、秋田県の補助事業として生活習慣病検診従事者講習会を開催し、秋田県がん対策室長須田広悦氏より「秋田県のがん対策について」と題し講演していただいた。また、「放射線技師が撮影する胃X線読影～追加撮影の必要性～」と題して、会津中央病院坂本直彌氏の講演は大変興味深く勉強になった。放射線安全管理セミナーでは日本放射線カウンセリング学会 長地主弘明氏から「お話、聴かせて下さい」のグループワークを交えた講演をいただき、

患者さんに対応する医療人として傾聴訓練の第一歩になったと考える。

各支部でも、CT・MRIセミナー、読影・教育セミナーなどを精力的に開催した。例年、県北支部で協力している「のしる産業フェア2014」では850名の骨密度測定を行った。市民に期待され定着している状況が明らかである。事業の全てを紹介できないが、どれも完成度が高く我々が社会に貢献する専門職として活動していることを自覚させてくれる。最近の読影をキーとする研修は会員にとって興味深い事業となっている。

当会は職域の発展に向け、専門職としての知識や技術向上に向けた学習、医療人としての資質の向上、社会奉仕活動などへ継続的に取り組んで行く必要がある。今後も、会員の皆様にご理解とご協力をお願いし、多くの会員に参加していただきたいと考える。尚、活動内容の詳細についてはホームページを閲覧いただきたい。

I 法人の概要

1. 平成26年度末の会員状況

- 1) 会員数（正会員：335名 名誉会員：2名 賛助会員：27社）
- 2) 会員動向（入会：12名 転出：4名 転入：1名 退会8名）

2. 理事会の開催状況

- 第1回（平成26年4月20日14：00～17：00 事務所・研修センター）
- 第2回（平成26年6月20日14：00～17：00 事務所・研修センター）
- 第3回（平成26年10月3日14：00～17：00 事務所・研修センター）
- 第4回（平成27年1月23日14：00～17：00 秋田県立脳血管研究センター）

II 事業の概要

1. 放射線技術の普及・啓発事業；公1

1) レントゲン週間公開事業の開催；公1

医療放射線画像展2014を平成26年11月8日（土）、秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろ一ど）で開催した。

2) 相談・助言に関する事業；公1

ホームページ上に「医療被ばく相談」を設け、県民を対象とした医療被ばく相談に対応した。医療放射線画像展でも医療被ばく相談や放射線検査に関わる相談を行った。

2. 調査・研究事業；公1

「女性会員の職場環境に関するアンケート」を平成26年11月現在、58名の女性会員が在籍している施設の所属長と女性会員を対象に行った。調査結果は、当法人のHPで公開している。

3. 学会、その他の研修事業；公1

1) 学術大会に関する事業；公1

第74回公益社団法人秋田県診療放射線技師会定時社員総会・特別講演会及び平成26年度公益社団法人秋田県診療放射線技師会学術大会並びに学術講演会を平成26年5月24日(土)～25日(日)にぎわい交流館AU(3F)多目的ホールで開催した。平成26年度県北支部総会並びに第99回学術大会を平成27年2月21日(土)～22日(日)に、八森いさりび温泉八タハタ館で開催した。平成26年度中央支部教育セミナー並びに支部活動報告会を平成27年2月27日(金)秋田県立脳血管研究センター2階講堂で開催した。平成26年度県南支部総会および学術大会を平成27年3月7日(土)平鹿総合病院2階講堂で開催した。

2) 講演会、講習会等に関する事業；公1

診療放射線技師や医療従事者を対象に講演会や講習会及び研修会を開催した。また、秋田県健康福祉部の補助事業として平成26年度生活習慣病検診従事者講習会を平成26年11月29日(土曜日)秋田赤十字病院2階多目的ホールで開催した。講演会や講習会は、乳房撮影技術研修会；平成26年6月7日(土)秋田赤十字病院2階多目的ホール・県南支部MRI研修会；平成26年6月27日(金)平鹿総合病院講堂・第1回放射線安全管理セミナー；平成26年9月6日(土)秋田県民会館ジョイナス研修室2・学術研修会「覚えておきたい骨盤部疾患の検査法」；平成26年10月11日(土)秋田県立脳血管研究センター2階講堂・県南地区上部消化管撮影研修会；平成26年10月24日(土)市立横手病院4階会議室2・平成26年度マネジメント研修会；平成27年2月7日(土)秋田市拠点センターアルヴェ1階音楽交流室D・循環器撮影技術研修会；平成27年2月14日(土)秋田県立脳血管研究センター2階講堂・県北支部秋季ナイトセミナー；平成26年11月7日(金)北秋田市民病院会議室・平成26年度中央支部第1回ナイトセミナー；平成26年8月29日(金)秋田大学医学系研究棟総5講・平成26年度中央支部第2回ナイトセミナー；平成27年1月29日(木)秋田大学医学系研究棟総5講で開催した。

4. 関係団体と連携する事業；公1

1) 後援・講師派遣等の事業；公1

秋田県健康づくり審議会の肺がん等部会；平成27年1月9日(金)・乳がん部会；平成26年10月7日(火)、第1回秋田大学次世代がん治療推進専門家養成プラン運営諮問委員会、21世紀の医療を守る会総会；平成26年7月3日(木)に委員を派遣した。あけぼの会主催の母の日キャンペーン；平成26年5月11日(日)秋田駅前「買い物広場」への後援、のしる産業フェア2014；平成26年10月11日(土)～10月12日(日)能代市総合体育館で乳がん検診の受診促進や骨密度測定を通じた健康増進活動を実施した。その他関係団体の地方開催事業(医用画像管理セミナーin秋田；平成26年11月15日(土)～16日(日)秋田県立脳血管研究センター2階講堂・第12回東北MRI技術研究会第3回秋田MRI技術研究会；平成26年7月12日(土)秋田市にぎわい交流館AU(あう)3F・秋田MR intelligence seminar；平成27年2月21日(土)平鹿総合病院講堂・第9回あきた県南C

T研究会；平成27年3月7日（土）平鹿総合病院第2会議室・MRI 技術ナイトセミナー；平成26年11月21日（金）秋田県立脳血管研究センター2階講堂の後援を行う。

2) 日本診療放射線技師会との連携事業；公1

公益社団法人日本診療放射線技師会が主催する東北地域第1回ミーティング；平成26年11月30日（日）へ女性会員2名を委員として派遣した。その他、共催事業として静脈注射講習会（針刺し除く）；平成26年7月27日（土）秋大医学部シミュレーションセンター教育センター・JART 診療放射線基礎技術講習「消化管撮影」；平成27年2月24日（土）秋田県立脳血管研究センター2階講堂・平成26年度フレッシューズセミナー；平成26年11月8日（土）秋田県立脳血管研究センター2階講堂で開催した。

5. 情報提供事業；公1

1) 機関誌の発行；公1

(1) 会紙「秋田県診療放射線技師会会誌」第52号

発行日を平成27年1月15日とし、掲載内容として巻頭言、年頭の挨拶、環境・保健事業功労者表彰、寄稿として医療放射線画像展報告、のしろ産業フェア報告、研修会報告、広場、施設紹介、新人紹介など、会員335、賛助会員27、各都道府県放射線技師会46、JART 会長、市内中学進路指導部23校、高校進路指導部60校、大学短大図書館15施設、関係各位28 合計535部発行した。

(2) 情報誌秋放技ニュース「LATITUDE 40N」通巻62

発行日を平成26年7月23日とし、掲載内容として会長巻頭言、副会長挨拶、新理事挨拶、表彰、総会報告、学術大会報告、マネジメント研修会報告、静脈注射講習会報告、母の日キャンペーン報告、上部消化管撮影技術研修会報告、その他を、会員335、賛助会員27、各都道府県放射線技師会46、JART 会長、市内中学進路指導部23校、高校進路指導部60校、大学短大図書館15施設、関係各位28 合計535部発行した。

(3) リーフレット

「医療放射線画像展」「安心してマンモグラフィを受けていただくために・・・」「(公社)秋田県診療放射線技師会」のリーフレットを公開講座やボランティア事業等で頒布した。頒布日；平成26年5月11日（母の日キャンペーン）・平成26年10月11日12日（のしろ産業フェア2014）・平成26年11月8日（医療放射線画像展）

2) その他の情報提供事業；公1

ホームページの公開・運営事業

一般の方へ「秋田県放射線技師会の紹介」「医療被ばく相談」「講演会のお知らせ」「放射線技師とは」「養成校一覧」その他質問・相談に関する問い合わせに対応する。会員へ「学会・研修会」「各種技師会活動の案内及び報告」「理事会の案内や理事会議事録」等を掲載した。

相互扶助事業；他1

1) 会員の福利厚生、交流と親睦、表彰に関する事業；他1

(1) 会員の福利厚生に関する事業

・会員の慶弔 祝電：4件 弔電：3件 (2) 支部会員相互の交流と親睦に関する事業

・県北支部リクレーション（ユニカール大会）；平成27年2月21日（土）八森いさりび温泉ハタハタ館、中央支部親睦会ボーリング大会；平成26年10月17日（金）秋田市内にて

(3) 表彰事業

・日本診療放射線技師会 永年勤続30年表彰；平成26年9月19日に田口 浩 会員1名。・秋田県診療放射線 技師会；平成26年5月24日・第74回定時社員総会で（功労賞；木村美奈子、鈴木 かなみ、五十嵐 弥、伊藤 勝行・学術功労賞；大阪 肇、齊藤 仁）の会員6名。・平成26年度環境・保健事業功労者知事表彰に藤原 理 吉、平塚 昌延、船越 俊幸の会員3名が表彰された。

(4) 法人管理に関する事務処理

管理運営に関する事務処理

・会員管理、新規会員入会促進、理事会、総会の開催と議事録の作成・保管、法人としての諸手続きを実践、刊行物の発送、事務所に備え置きする書類等の管理を行った。

財務に関すること

・財務諸表・予算書の作成、会計業務、資産管理、会費請求、税理士への相談を行った。

2) メーカーとの共催事業；他1

エーザイ株式会社と共催で、第12回秋田CTテクノロジーフォーラムを平成26年7月19日（土）に第一会館 本館4Fで開催した。

以上